みんな 仲良く ボールを 追い掛け

障害者のためのサッカークラブ「みなけんF・C」

みなけんF.Cのコーチ陣（レイジェンド滋賀選手）左から長谷川（はせがわ） 圭（けい）さん、吉田（よしだ） 実成都（みなと）さん、金城（かねしろ） 賢司（けんじ）さん、木村（きむら） 達哉（たつや）さん

ビッグレイク（野洲川歴史公園）を拠点にプロを目指すレイジェンド滋賀の選手が、障害者のためのクラブチームを発足。ボランティアコーチとして活動しています。

念願の青いユニホーム揃え サッカーを楽しむ仲間たち

11月、小春日和の北川原公園（川田町）でサッカークラブ「みなけんF・C」の練習がありました。この日は念願のユニホームがもらえる日。スポンサー企業のプリントをつけた、お揃いの青いユニホームは一足早いクリスマスプレゼントのようでした。

真新しいユニホームに袖を通して大喜びをしているチームのメンバーは、自閉症や発達障害、知的障害のある人や健常者で、子どもから大人まで年齢もばらばら。でも、同じチームで一生懸命にボールを追い掛け、サッカーを楽しんでいました。

コートの外で見守る保護者たちも、青いユニホームでボールを追い掛ける姿を嬉しそうに見守っていました。

①ユニホームのバックプリントも本格的 ②障害者のためのサッカークラブ開設の火付け役となったまるさん合同会社の長谷川 二郎さん
③目の離せない子もしっかりキャッチ＆抱っこ ④金城コーチとボールを追い掛ける参加者

レイジェンド滋賀の選手らが発起人・ボランティアで運営

みなけんF・Cのコーチは、プロを目指すレイジェンド滋賀（関西1部リーグ）の現役選手4人。もちろんボランティアで活動しています。

サッカークラブ開設の提案者は、4人が勤めている、まるさん合同会社の代表長谷川（はせがわ） 二郎（じろう）さん。障害者福祉サービス事業を運営する事業所で、選手を雇用する形でレイジェンド滋賀に協力しています。

日ごろから仕事で障害のある人たちと接していた吉田選手と金城選手の2人が発起人となり、昨年12月に2人の名前から取った「みなけんF・C」がスタートしました。

それから間もなく「みなけん」の名前には「皆で仲良く健康な毎日を！」というチームスローガンの略語という意味が加わりました。

コーチは憧れのヒーロー 夢と楽しさに会える練習日

クラブに参加する理由は、保護者や本人がサッカーファンであったり、伸び伸びと体を動かし駆け回り、運動したい健康志向であったり、福祉作業所などの余暇を有意義に過ごすためであったりとさまざまです。でもレイジェンド滋賀のホームゲームを見たすべての障害者にとって、ピッチを縦横無尽に駆ける選手たちは憧れのヒーローで、クラブのメンバーは、同じグラウンドに立ち、一緒にボールを追い掛け、何より思い切りサッカーができる練習日を楽しみにしているそうです。

「家とは違う元気な姿うれしい」 選手も初心に返る大切な時間

参加者の保護者は「普通のスポーツクラブは健常者の子どもたちを対象にしているので、障害があると練習に追いつけなかったり、迷惑を掛けてしまうと思い参加できません。元気いっぱいに走り回る、家にいる時とは違う姿を見られるのが嬉しいです」と話していました。

吉田さんと金城さんは「障害のある人を対象にしたクラブは少ないと思いますが、ドリブルやゲームなどできる範囲でしっかり練習しています。レイジェンド滋賀で健常者の子どもを対象としたサッカー指導もやっていますが、障害のある人のコーチも同じで『サッカーって楽しい』という気持ちを引き出す事が一番大切です。私たちは普段、勝敗にこだわって試合をしているので、みなけんF・Cでのボランティアコーチは初心に返れる時間で私たちも楽しいです。保護者と観戦に来てくれる人も増えました」と話し、笑顔を覗（のぞ）かせていました。

みなけんF.Cの練習風景 ⑤まずはウォーミングアップ ⑥ゲーム感覚でドリブル＆ガード ⑦仕上げは2チームに分かれてゲーム ⑧チームメイト